

2022年度以降の北海道風力実証試験のための マージンの設定について

2022年2月10日

- 第35回系統ワーキンググループ（2021.12.15）において、風力実証試験サイトの継続運転のために技術的課題の検討を進めることとし、2022年度以降も風力実証試験を継続することとなった。
- 第13回本委員会（2017.2.14）において北海道風力実証試験実施中はマージンを設定するとされていることから、これまでと同様、北海道本州間連系設備及び東北東京間連系線に調整力確保のためのマージンの設定を継続する。

域外からの調整力の調達について

- 域内の調整電源が不足している北海道においては、連系線を通して域外から調達することが重要。
- そのため、本WGの議論を踏まえ、2017年11月から、北海道電力ネットワークと東京電力パワーグリッドにおいて、北本連系線等に設定されたマージンを介して、東京エリアの調整力（長周期の変動）を活用することにより風力発電の連系を拡大する実証試験（風力発電19.8万kW）を実施してきた。
- その際には、2021年度までに実証を行うことを前提に議論がなされたところ、今回、実証の進捗状況について、北海道電力ネットワーク・東京電力パワーグリッドから御報告いただく。
- その上で、実証試験後の風力設備の継続運転には需給調整市場を活用した運用等が考えられる一方、本実証スキームを需給調整市場や広域運用の仕組みに変更するためには、検討すべき技術的課題があることが整理された。
- **技術的課題の解決のためにも、来年度以降も実証を継続し検討を進めることでよいか、御議論いただきたい。**

出典：第35回電力・ガス事業分科会電力・ガス基本政策小委員会 系統ワーキンググループ 資料4